



## 第1回

### 国語世論調査

※2022年10月の毎日新聞記事を元にした文章です。

校閲し、直すべきところを指摘してください。

「半端ない」「ぶっちゃけ」という新しい表現について気にならな  
いとする人が約6割に上ることが、  
文化庁が9月30日に公表した20  
21年度の「国語に関する世論調  
査」で明らかになった。いずれも  
署名人を介して注目され、メデイ  
アで繰り返し使われた影響などで  
一般化したとみられる。

調査は、国語に関する意識や理  
解度を調べるために1995年度  
から毎年実施。今回は22年1月に  
16歳以上の男女6000人を対象  
に調査票を郵送し、3579人(回  
答率59・7%)から回答を得た。  
新しい表現や文法上は不正確な言  
葉を使うかどうかなど尋ねた。

「中途半端でない」ことを指す  
「半端ない」は、60・2%が「気  
にならない」と回答。「使うこと  
がある」と答えたのは46・4%で、  
11年調査の20・1%から倍増した。  
「正直なところ」を意味する「ぶ  
っちゃけ」は、「使うことがある」  
が41・4%、「気にならない」が  
55・7%だった。

「半端ない」は、18年のサッカ  
ー・ワールドカップのロシア大会  
で活躍した大迫勇也選手を称賛す  
る表現として注目されたこともあ  
り、文化庁はこの10年ほどで使わ  
れる機会が普及したと分析。「ぶ  
っちゃけ」については、俳優の木

村拓也さんがテレビドラマで使うフレーズなどとして一般化したとみている。

新しい表現でも「使うことがあ  
る」と答えた人の割合が低かった  
のは、「そうではなくて」を意味  
する「ちがくて」の24・4%、実  
体などを分かりやすく示す「見え  
る化」の27・6%など。「ちがく  
て」は、60・5%が「気になる」と  
答えている。文化庁の担当者は「時  
間ともに認知されて定着する言葉  
がある一方で、表現によっては受  
け入れがたい人が多い場合もある  
のだろう」と話している。

調査では、本来と異なる意味で  
使われている言葉の使用状況も尋  
ねた。「一時しのぎ」を意味する  
「姑息こそく」を正しい意味で使ってい  
たのは17・4%にとどまり、73・  
9%は「ひきょうな」という意味  
で捕らえていた。「割愛する」は、

本来の「惜しいと思うものを手放  
す」と理解していた人が23・7%

だったのに対し、65・3%は「不  
必要なものを切り捨てる」との意  
味で使っていた。

このほか、「大きな声を出すこ  
と」という意味の「声を荒らげる」  
を、本来の「あららげる」と読ん  
だのは12・2%で、77・9%は「あ  
らげる」と解答。「ひっきりなし  
に続くさま」を表す表現は、辞書  
通り「のべつまくなし」としたの  
が41・9%だったのに対し、「の  
べつまくなし」と答えたのが27・  
1%となった。

新型コロナウイルスの感染拡大  
に伴って使われるようになった言  
葉や表現では、「おうち時間」は  
69・1%、「黙食」は64・9%が  
「そのまま使うのがいい」だった。